

コード	302021401
記入日:	H22.6.17

課コード	112
課名	こども課
課長名	荒木宣貴
担当者	尾上富幸

事務事業途中評価表

作成年度	平成 22 年度
------	----------

評価対象事業名称	地域福祉活動補助事業費
----------	-------------

事業種類	単年度繰返事業
事業期間	平成 19 年度 ~ 平成 年度

総合計画の位置付け				財務会計の位置付け			
政策コード	3	政策名称	誰もが安心できる保健・医療・福祉の充実	款コード	3		
施策コード	302	施策名称	協力し支えあう地域福祉の推進	項コード	1		
基本事業コード	30202	基本事業名称	地域福祉推進体制の整備	目コード	1		
事務事業コード	3020214	事務事業名称	地域福祉活動事業補助金	細目コード	1036		
関連計画	地域福祉活動事業補助金		法令・条例規則等	新上五島町地域福祉活動事業補助金交付要綱			

計画(PLAN) ※単年度繰返事業については、全体欄を*****とする。

対象:誰、何を対象にしているのか		対象指標:対象の大きさを表す指標						
(対象1) 社会福祉法人お告げのマリア会		(対象指標1) 1団体						
(対象2)		(対象指標2)						
事業の概要:具体的なやり方、手順、詳細を記入		活動指標:事務事業の活動量を表す指標・達成率 (上段:全体、下段:評価年度)						
(全体)		(評価年度実績)		(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)
*****		仲知、津和崎地区の乳児から高齢者までが集う場として福祉の増進を図る 1)つどいの広場事業 2)生きがい活動事業 3)あずかり保育事業		① 事業実施件数	3	100%	事業実施件数÷事業計画件数	***** 平成21年度
				(達成率分析)	当初計画していた3事業についてすべて実施した			
				② 補助金交付件数	1件	100%	補助金交付件数÷補助金申請件数	***** 平成21年度
				(達成率分析)	1件の補助金申請があり内容を審査し、申請どおり交付した。			
目的:何をしたいのか		成果指標:目的の達成度を表す指標・達成率 (上段:全体、下段:評価年度)						
				(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)
				① 利用登録者数	45名	100%	利用登録者数÷利用申請者数	***** 平成21年度
				(達成率分析)	保育所がない仲知・津和崎地区において、地域住民のニーズに対応しあずかり保育事業を実施している			
				②			*****	*****
				(達成率分析)				

実施(DO) ※単年度繰返事業については、評価終了した年度及び評価年度を記載し、その合計を全体計画欄に記載する。

	単位	全体計画		平成20年度以前	平成21年度		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度以降
		計画	実績	実績	計画	実績	計画	計画	計画	計画	
活動指標	① 事業	9	9	6	3	3					
	② 件	3	3	2	1	1					
成果指標	① 人	124	124	79	45	45					
	②										
総事業費C(A+B)	千円	17,652	17,652	11,768	5,884	5,884					
直接事業費A	千円	17,652	17,652	11,768	5,884	5,884					
人件費B	千円										
内訳	従事職員数	人									
	人件費単価	千円	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000
Cの財源内訳	国補助金	千円									
	県補助金	千円									
	起債	千円									
	その他	千円									
一般財源	千円	17,652	17,652	11,768	5,884	5,884					

評価(CHECK) ※理由の欄は必ず記載すること。

妥当性	町が税金を投入して行う必要がありますか。	●ある ●ない	理由 仲知・津和崎地区においては、平成19年度から青空へき地保育所の廃園に伴い、実施する必要がある。
	時代情勢や環境の変化などを考慮しても、事業を行う必要がありますか。	●ある ●ない	理由 仲知・津和崎地区においては、平成19年度から青空へき地保育所の廃園に伴い、近くの保育所までの距離が約15キロ～20キロと長距離となるため必要な事業である。
	事業の対象・目的は適切ですか。	●適切 ●不適切	理由 新上五島町地域福祉活動事業補助金交付要綱により実施している
有効性	現在の事業の進め方が期待されるような成果をもたらしていますか。	●いる ●いない	理由 補助事業実施団体と地区住民及び町が一体となって実施しており、十分な成果をもたらしている
	成果を向上させる余地はありますか。	●ある ●ない	理由 実施団体、地区住民及び町が協議し、事業内容を充実させることにより成果を向上できる
	事業を行わない場合の影響はありますか。	●ある ●ない	理由 仲知・津和崎地区において住民ニーズに対応できず福祉が後退する
	類似事業との整理統合はできませんか。	できる ●できない	理由 平成19年度の事業開始時に整理統合について、協議した結果である
効率性	直接事業費を削減することはできませんか。	できる ●できない	理由 青空へき地保育所の廃園に伴い、委託料から補助金へと制度を見直した際、金額を1/3に減額したので現時点ではできない。
	人件費を削減することはできませんか。	できる ●できない	理由 人件費は計上していない。
	受益者負担は適正ですか。	●はい ●いいえ	理由 受益者負担は、他の類似事業と協議している

改善(ACTION)

改善策	1次評価	妥当性	仲知・津和崎地区において必要な事業である。
		有効性	少子化により保育所の統廃合を進めているが、仲知・津和崎地区においてこの事業は不可欠である。
		効率性	平成20年度から、新上五島町高齢者生活支援事業実施要綱の生きがい活動通所事業の補助制度廃止に伴い、この地域における生きがい活動事業を見直す必要がある。
	課題に向けた改善策	特になし	
	2次評価	妥当性	乳幼児と高齢者の集いの場として機能している。
		有効性	地域の乳幼児・高齢者の福祉増進に努めること。なお、生きがい通所活動においては、前年度に事業内容の検討を指摘していたが、その方向性が示されていない。
効率性		補助基準により適正な執行に努めること。	

住民等の意見	
町の対応	

今後の事業の方向性	1次	2次	3次		1次	2次	3次	
				このまま事業を継続				類似事業と整理統合
	●	●		事業内容を見直して事業を継続				事業の休止
				事業費を見直して事業を継続				事業の廃止

※3次評価については、住民等の意見があった場合にのみ、再公表するものとする。